

地域における芸術の支援と貢献

1. はじめに

・昨年から、岡本にある OAG Art Center Kobe の運営を始め、地域における芸術の支援と貢献について日々考えている美術家です。2023年にカナダのウィニペグにある MAWA、2024年に NY 州にある ART OMI にアーティスト・イン・レジデンス¹でそれぞれ1ヶ月滞在しました。この二つの施設の経験をもとに、地域における芸術の支援と貢献について考えます。

・「地域における芸術」はここでは、アートフェスティバルやプロジェクトよりも、文化センターや文化施設を対象にします。カナダの MAWA では、文化施設やアーティストが国や地方からの支援されていることを知りました。そして、ニューヨークでは、格差社会の中での芸術のあり方や芸術に対する寄付について考えました。

2. 地域における芸術の役割と課題

地域社会における芸術の役割・文化的意義：芸術が地域文化の維持と発展にどのように貢献しているのでしょうか。

法律：地域文化振興法（1999年制定）—地域の文化資源を活用し、地域住民の自主的な文化活動支援する目的。

文化芸術基本法（2017年制定）—文化芸術活動の振興を通じて、国民の文化的生活の質を向上させ、社会の多様性と創造性を高めることを目的。

現状：2022年に経産省の動向：「アートと経済社会について考える研究会」を発足するなど、今までになかった傾向にあり、アートへの関心の高まりを示しています。

経産省の研究会の報告書（「第3章 2 アートと地域・公共」から）が提示する課題：

- ① 地域のアートに関する知識やノウハウが不足している
- ② 地域のアートに関するヒト・モノ・カネが不足している
- ③ アーティストの発表・制作の場が十分に提供されていない

しかし、公立文化施設の数 は 3,442 館であったが 2014 年度調査と比較すると、4.1%減少しています。²

3. カナダの MAWA と NY 州の ART OMI の事例

・**MAWA について**：Mentoring Artists for Women's Art の略。MAWA があるウィニペグ市は、マニトバ州の州都。

内容：1ヶ月の制作滞在。制作しなくてもいい。アーティストトークは必須で、謝礼が払われる。

施設：非営利団体。性自認が女性であるアーティストの支援。アーティスト・イン・レジデンスは交流を目的としている。

¹ 省略形：AIR アーティストが一定期間ある土地に滞在し、常時とは異なる文化環境で作品制作やリサーチ活動を行うこと。またはアーティストの滞在制作を支援する事業のこと。その起源は、17世紀フランス。

² 2019年度「地域の公立文化施設実態調査」一般財団法人 地域創造

補足：ウィニペグ市には、MAWAのように女性にフォーカスしたアート施設や、他にも、障がい者、ストリートアート、病院、工芸など、様々な分類のアートセンターがあり、それぞれ国、州、市の支援下によって成り立っています。

アーティストは活動を認められると制作に対しても行政からの支援が得られます。アートに関わる謝金は、施設の大きさにより、国により定められています。カナダの中でもウィニペグ市は芸術に対して厚遇だと言われていました。

・ART OMI について NY州ハドソン

内容：1ヶ月の食事付き制作滞在。施設に生活に必要なものは揃っています。制作費300ドル支給。世界中からアーティスト、批評家、キュレーターを一度に20名ほど招待されます。制作と同時に、批評家やキュレーターとの面談もあり、アーティストの強化合宿のようです。最後にはオープンスタジオがあり作品を見せる機会があります。

施設：非営利団体。国際的なアートの繋がりをつくり、アートコミュニティと一般の人々を結びます。広大な土地にある恵まれたレジデンス施設です。敷地内には、子供のための教育施設、アートセンターや屋外彫刻の公園も持ちます。レジデンスは、アーティストだけでなく、時期によってジャンルが違います。小説家、ダンサー、建築家などを招きます。近年中に美術館建設予定。

補足：オープンスタジオには、数時間にもかかわらず、セレブリティも訪れるほどの注目度。作品販売も行われます。個人や企業からの寄付、寄付イベントやパーティーの開催もあります。

4. 神戸市における具体的な事例

・神戸市文化スポーツ局予算について ¥18,081,388(2023年)、¥16,484,858(2022年)

>文化芸術の振興 ¥8,221,353、博物館・美術館の魅力向上¥890,727

文化芸術の振興：神戸ジャズ100周年事業の開催、ストリートパフォーマンスの推進、ライブハウス等と連携したまちのにぎわい創出、第50回神戸まつりの開催、「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の拡大・発展への支援他

・**芸術支援プログラム**：市や地域団体が実施している芸術支援の取り組み（助成金、施設提供、教育プログラム）

・地域のアーティストやアート団体

C.A.P.(元町)：非営利の文化活動を推進する組織。スタジオ、カフェ、情報誌、レジデンス。

新開地アートひろば(指定管理者/公益財団法人神戸市民文化振興財団)：発表施設、練習・制作施設、無料開放スペースの3つから構成される施設

5. 結論と今後の展望

地域社会における芸術の支援は、文化的、社会的な意義を持つものです。ウィニペグやニューヨークの異なる事例から多くを学び、日本の地域社会に適した支援策を模索することが求められます。

芸術は、人間の独自性や創造性を表現する手段であり、AIが想像を超えて進化する現代において、その価値はますます重要性を増しています。芸術は人間らしい営みの一つです。それは支える仕組みを強化する必要があるでしょう。

人々がそれぞれ住まう地域に根付いた芸術文化の発展を目指したいと考えています。